



高校時代の勉強法

実体験に基づく提
案

チョコレート

今や大学全入時代と言われるように、高校生に大学受験は必須となりつつあります。受験には勉強がつきものですが、せっかくなら効率良く勉強したいと考えるのが普通だと思います。そこで私なりの勉強法をまとめようとしてこの本を書き出しました。私は5年程前に大学受験(国立、理系)をし、その際の体験談が中心です。そのため理系を目指す方にはより適した内容になっていると思います。

今改めて思うと「あの時こういう勉強法をしていれば良かった」と思うことも多いので、少しでも今の高校生に読んでもらいたいです。もちろん高校生のお子さんを持つ親御さんにも読んでいただきたいため、共に役立つように書いていく予定です。

経験を基にした素人の本ですが、受験が比較的最近(5年前)ということもあり、実際に可能な勉強法だと考えております。よくテレビや本等で紹介されている勉強法を私も受験生の時に参考にしようとしたのですが、とても真似できるようなものでもない、もしくは具体性に欠けたものが多かったように感じます。この本が少しでも参考になれば光栄です。

なぜ勉強なのか

この章では受験勉強全般についてのお話です。受験勉強、当時私にはとても楽しい事ではありませんでした。周りを見渡しても楽しいと言う人はそうそういませでした。そうなんです、みんな勉強は嫌いなんです。でもやらなければならない。これが勉強だと思います。

誰もが「なぜ大学受験の科目が勉強なのか」と思ったことはあるでしょう。「野球の上手さ」や「歌の上手さ」で合否を判定するという仕組みではいけないのか。別に社会に出てから勉強した内容を使う訳ではないしなぜ勉強なのか。私が達した結論は「科目として勉強は最も平等なものである」という事でした。勉強において全く才能が関係ないといえは嘘になると思いますが、それはほんの上位一部のことであると思います。そのため誰でもがんばれば成果が出るというのが勉強であり、そのため勉強が受験の科目になっているのではないのでしょうか。

また「良い大学に入ることがゴール、目的ではない」とよく聞きますが、たしかにその通りだと思います。しかし、では良い大学に入るとイコールの事柄はなんなのか。私は良い大学に入れば選択肢が増やせると思います。将来せっかくなにかになりたいと思っても、実現できなければ意味がありません。実現するための一つの武器として大学名を利用すると考えた場合、良い大学に入ってマイナスになることはほとんどないと思います。ただし、大学名が全てという訳ではないです。そのための努力の効率化のためにもこの本が参考になれば幸いです。

私が受験勉強で最も重要だと思う4つの心構えは次のものです。

- 1. 高校2年春から始める
- 2. つらい時は時間を決める
- 3. 友達の話は少しだけ聞く
- 4. 自分なりの勉強法を見つける

1の高校2年春から始めるというのはかなり重要だと思います。私の周りでは高校3年春や高校2年冬頃から、本格的に受験勉強を始める人が多いように感じました。またこの時期から急に予備校や塾などに通う人も多くなります。そこで逆算し2年の春から始めると、「他の人の2倍の期間があれば半分の勉強量で済む」事になります。もちろん1日あたりの勉強量が半分になるだけで全体の勉強量は同じです。これを目標にしていれば、2年の間に勉強するくせがつくので、実際高校3年になった時には焦りなどもあり人の7,8割の勉強量となり、結果人よりも多く勉強することになります。人よりも多く勉強することは合格へつながります。

2のつらい時は時間を決めるというのは苦手な科目に対して有効であると思います。誰でも好きな科目と嫌いな科目があると思います。好きではないとしても勉強しているうちにいつのまにか時間が経っているという科目もあるかと思っています。私は当時国語や英語が苦手で、勉強して時計を見ると「まだ30分しか経ってないのか」と思いましたが、数学や物理は好きな方だったので「もう1時間半も経ったのか」とよく思っていました。そのため好き、得意な科目に関しては好きなように勉強していれば良いと思いますが、苦手な科目をどうするか。そこでつらい時、特に苦手な科目をやる際は時間を決めることが重要です。始めから「今日は1時間半英語を勉強するぞ」という決め方ではなく、やっている内に飽きて集中力が切れてきたら「あと30分だけがんばろう」等と決めたほうが良いと思います。なぜなら、始めから決めているとどうしてもやらせれていると感じてしまいます。苦手な科目なら余計に感じます。また飽きた時のもう一押しが本当に良かったと私は思います。

3の友達の話は少しだけ聞くというのは、少し友達には悪い感じもしますが勉強関連の話の場合7,8割は聞き流してしまいいましょ。理由は2つあり、まず友達の情報はそこまで信用にはならないということです。もちろん正しい情報もあるので有用な場合もありますが、基本的にはそこまで役に立ちません。次に「あの子がこう言うなら私もそうしよう」等と考えていると勉強法がブレてしまいます。自分独自の勉強法に没頭しすぎるのも良くないので、修正のためにも2,3割は友達の話も聞き入れながら自分の勉強法を修正していくのがベターです。

4の自分なりの勉強法を見つけるというのを読んで、「なんだそれならこの本を読む意味はないじゃないか」と思った方もいるかもしれません。しかし、自分なりの勉強法というのはそんなに簡単に作れるものではありません。そこで学校の先生、塾などに通っている方はその先生、勉強法について書かれている本を何冊か読んで、その中からいくつか自分が良いと思うものをいくつか選んでみてください。そしてそれらを組み合わせて自分なりの勉強法を作り、それを実践していくことが重要です。また自分なりの勉強法を誰かに見せるのは少し恥ずかしいかもしれませんが、どういう風に勉強するかを紙に書き先生に見てもらおうと修正してくれるのもっと良いと思います。その際の注意点はその見せる人が頑なに自分の意見を守る頑固な人では意味がないので、頭の柔らかい柔軟な人に見せましょう。

1-4の心構えができましたので、次から具体的に各科目ごとに私が行った勉強法を述べていきます。

まず数学です。どうして数学からかと言うと、単純に私が最も得意かつ好きな科目だったからです。数学において公式は命です。数学の勉強法において最も重要なのは以下の4つです。

1. 割り切る
2. 簡単な自分の例で公式を覚える
3. とにかく問題を解く
4. 解答をちゃんと読む

順番に詳しい内容を見ていきます。

1の割り切るといえるのは数学等の理系の科目では「なぜ？」と考えるのが重要だとは思いますが、公式や定理等に対していちいち「なぜ？」と考えているといつまでたっても前に進まないと思います。昔のとてつもなく賢い数学者が考えた式であると考え、割りきって暗記してしましましょう。暗記する際には声に出してやることが重要です。

2の簡単な自分の例で公式を覚えるというのが次の段階です。声に出してある程度覚えたらその公式が使える簡単な例を自分で考えます。例えば三平方の定理を覚えます。有名な「 $a^2 + b^2 = c^2$ 」という式です。この時にこの文字列を丸暗記するのではなく、それぞれの辺が3,4,5cm三角形を書いて、「 $3^2 + 4^2 = 9 + 16 = 25 = 5^2$ 」と簡単な例を考えながら覚えます。このようにすれば少し忘れて曖昧な時、「cは2乗だったけ？3乗だったけ？」等と迷ったときに実際にこの例で計算してみれば「3乗じゃなくて2乗だ！」と判明します。これは簡単な公式だと思うので丸暗記でも問題ないかもしれませんが、「解の公式」等ややこしい公式の場合にはこの方法が有効であると思います。公式の曖昧な忘れというのは良くあります。

さて1,2で公式を覚えられたらついに問題にとりかかります。そこで3,4の方法を行います。あとは「問題を解く→解答をちゃんと読む」ひたすらこれの繰り返しです

3の問題を解くときにはどの公式が使えるか常に考えながら解くということが重要となります。数学においてどの公式も使わずに解く問題を私は見たことがありません。そのためぱっと見て公式なんか適用できなさそうだと思っても、「絶対に最低1つは公式が必要だ」と考えもう一度よく問題を見てみましょう。そうすれば自ずと解く方法が見えてくるはずですよ。

そして3が終わったら、4の解答をちゃんと読むというというのが重要な作業となります。答えが合っているにもかかわらず途中の考え方が間違っているという事は多々あると思います。そのため解答は1字1字丁寧に読み、自分の答えと照らし合わせていくべきです。